藤沢総合学校　学校運営協議会　開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

審議会等名称	令和５年度　藤沢総合高等学校　第１回　学校運営協議会
開催日時	令和５年６月 29 日（木）　15 時 30 分～17 時 00 分
開催場所	藤沢総合高等学校　応接室
出席者	学校運営協議会委員　４名（書面会議参加者：２名） 事務局（副校長・教頭・総括教諭・担当者）　９名
下欄に掲載するもの	・議事概要
審議(会議)経過	※15 時～　校内授業見学を実施 １　校長挨拶 ・コロナが落ち着き、元の生活が戻ってきた（従来に近い体育祭を実施） ・先週、農業の授業で田植えを実施、秋には文化祭を実施予定 ・今年度 20 周年のため、11/15 藤沢市民会館で式典予定 ・在県生徒　１年次７名、２年次４名在籍 ２　自己紹介 ３　今年度学校運営の基本方針について（副校長） ・藤沢総合高等学校コミュニティースクールイメージ図 ・藤沢総合高等学校グランドデザイン ・学校教育計画（令和２年度～令和５年度） ・令和４年度　学校評価報告書（目標設定） 学校関係者評価についてのお願い（３月にご意見をいただく） ・令和４年度　藤沢総合高等学校不祥事ゼロプログラム ４　スクールポリシーについて ５　今年度学校諸活動について（各グループ総括） ・過去５年間の月別・年次別遅刻者数　（カリキュラムＧ） コロナの影響等で状況が毎年違うので、比較はできない。 基本は少ないが、昨年度は 20 回以上遅刻している生徒が一部いたため、平均が上がっている。 ・学校説明会日程　（総合推進Ｇ） 例年９月だが、暑さの軽減のため、10 月に実施 本校の情報を早めに知りたい中学生には個別に対応 全公立展無事に終了

	・夏季連携講座一覧　（総合推進Ｇ） ・令和４年３月卒業生進路状況　（ガイダンスＧ） 例年同様だが、推薦が多様化 ・校内生徒支援体制　（生徒支援Ｇ） 原因は特定できないが、学校で対応できない長期的な支援が必要な生徒の事案がある。 質問：コロナの影響で相談件数が増えているのか →特定できていない 感想：大学では学生のコミュニケーション不足を感じる、大人との会話が苦手になっている気がする ・令和４年度　保健室来室状況まとめ　（生徒支援Ｇ） 訂正　スポーツ振興センター申請件数　37→38 ・令和４年度　スポーツ振興センター請求件数　（生徒支援Ｇ） 登下校の自転車事故 質問：生徒のヘルメットの着用状況は？ →現在は努力義務なので、被るように事あるごとに生徒に伝えてほしいと警察から言われている ・生徒会主催行事　（生徒活動Ｇ） 部活動紹介から始まり体育祭まで、コロナ前と同様に実施できるようになった。文化祭の招待客も緩和の予定。文化祭で長後商店街とのコラボを調整中。 部活動の加入率の低下は入部届けの扱いの変更の為と考えられる。 提案：インターネットで部活動紹介の動画を紹介してみたらどうか 要望：12/9　ダンス部の生徒にダンスを教えてほしい 情報：10/28 小学校運動会　（小学校、高校で情報交換が必要かも） 10/28 さつまいも掘り（日程ずらせるか検討） フォーラムのコンサートは今年度中止、来年度は実施したいため、早めに校長に相談 ・総務グループ主催活動　（総務Ｇ） 第２回の防災訓練は授業内を想定し、行えるよう検討中（消防署との連携も含む） 7/12「野菜」の授業の生徒、ボランティア、保護者でコスモスの種まき予定 10 月に地域清掃を行う予定 ４月より一人一台端末、Jamboard 等を活用 アドバイス：非常事態のときは避難訓練が役に立つ 11 月の第１週に長後市民センターで起震車を呼び訓練予定、校長に後日連絡予定 ・在県特別枠募集入学生徒への支援体制について　（副校長より） ・人権教育研究校事業について ６　意見交換

	・コロナのときはズームで学校運営協議会を行っていたが、本日久しぶりに生徒が活動しているところを見ることができ、嬉しかった。 ・コロナで大変だっただろうが、生徒は立派に巣立っていると思う。 ・藤沢総合の生徒は挨拶を良くしてくれて、コミュニケーション能力が高いイメージがある。 ・地域でも藤総生を頼りにしています。 ・「なんでそうなった？」というようなニュースが世の中に多い。学校でのサポートがあれば減るのではないか。 ・課題研究はどこで発表するのか？ →学習成果発表会や、年末の総合学科フェスタで発表している。 内容が濃いと教員だけでは対応が難しいのではないか？外部とは繋がっているのか？ →専門学校などと連携 ・中学校でもLGBTQの生徒への対応がある。藤沢総合で配慮を求められたことはあるか？ →女子のスラックスは用意されている。今の所、特に配慮の要望はない。 ・教科の希望でミスマッチは？ →生徒へ希望を取り、なるべく調整する。人数が多かった場合は選考となる。 ・小学校校長として、小学校でどのような力を付けていけばよいのか考えるよい機会となった。小学校の役割を改めて考えていきたい。
次回開催予定日	令和５年10月予定
問合せ先	副校長　青木　　電話　0466-45-5325（直通）